



中小路

<http://www.net1.jway.ne.jp/nakakouji.k/index.html>

第126号

中小路学区コミュニティ推進会
中小路地区社会福祉協議会
発行責任者 中野 三樹男
編集責任者 広報部
交流センター 22-6483

中小路自主防災訓練

防災防犯部部長
館野 清道

中小路自主防災訓練が十一月三〇日にコミュニティ役員や市関係者、中小路の児童、地域住民、市内在住の外国人等、200名を超える参加者で開催されました。今回の訓練想定は、大雨警報発令・警戒レベル3を想定し、緊急連絡網で参集訓練、民生委員・地区社協さんは、要支援者安否確認をしました。救出救助班では、①大声出し訓練②消火器操作訓練③煙道訓練を体験し、段ボール間仕切り、段ボールベント、簡易テント、防災マシホルトイレ、給水タンク組立、災害時の外国人市民への支援ブースでの訓練が行われました。それぞれ、小学生児童を中心に外国人市民や地域住民参加者も訓練を体験しました。

今回は、本年8月の大雨で宮田川、平沢川の氾濫で学区内に於いても住宅の浸水、河川の法面崩壊、住宅の取り壊し等、大きな被害がありました。災害は



いつおこるか分かりません。いざという時に落ち着いて行動するには、日頃からの防災意識を高める事が大切です。今回も昨年に引き続き、つくば市のナダレンジャーさんをお招きしました。災害を引き起こす自然現象のメカニズムを楽しめるサイエンスショーで、突風・雪崩・地震の揺れなど、こわい自然現象をミニチュアにして再現するものしながら体験しながらの講演会でした。

最後に訓練隊長挨拶、町田教頭先生から、「災害はいつどこで起こるか分かりません。災害に直面した時に、より迅速に、より冷静に、より

確実に行動しなければなりません。そのために、今日のような様々な体験をする事が重要であります。中小路学区の子ども達は毎年このような訓練を繰り返して行っています。子ども達にとって、自分の命は自分で守る事が少しでも出来るかと確信しています」と締めました。今回の訓練にあたり関係者の皆様の多大なるご尽力を賜り御礼を申し上げます。来年もどうぞよろしくお願ひします。



日立魅力再発見ウォークの案内人を経験して

北見喜市



このたび、「中小路の史跡を訪ねて」と題し、旭町の澤田博さんと日立の魅力再発見ウォークの案内人をしました。今回は日立駅前から、シビックセンター、伊謝波神社、土佐稲荷神社、助川前坪の天道塚、沼川弁財天(弁天様と弁天池)を巡り、そして銀座通りの二十三夜尊で解散するというコースでした。当日は天気にも恵まれて23名の参加者がありました。

この度この役目を担うにあたり、今まで考えもしなかった歴史の本や参考資料等をたくさん読みました。そして自分が住んでいる地域にも永い歴史が詰まっているということにあらためて知ることができました。そしてさらに新しい疑問が出てきてまた調べ直すという、楽しさがグルグル回っていくような時間を過ごすことができました。

皆さんもぜひ自分の周りにある史跡やその名前などに目を向けてみてください。すると新しい興味が湧いてくること請け合いです。

中小路学区コミュニティとしては毎年、コースを変えて魅力再発見ウォークを行っています。さらに、このウォークは中小路以外の多くのコミュニティでも行っています。いろいろな地域を回ってその地域に秘められた歴史を覗き見るのも面白いと思います。ぜひ、いろいろなところを巡って珍しい体験をしてみてください。



「ひたち郷土かるた大会」に参加して

協力員 伊藤 千恵

11月28日(休)中小路小学校で「ひたち郷土かるた大会」が開催されました。昨年は選手として、今年は審判として参加させていただき子どもたちのこの1年の成長を感じてきました。父兄の方々も熱心に子どもたちの姿を見ていました。

今年は縦割り班対抗の2学年ずつの対戦で、昨年の3人対戦から1対1になりそれぞれ子どもたちの気合を感じた印象でした。白熱した戦いもあり「あ〜お手付きしちゃった!」「早い〜!」などの声が聞こえました。各学年真剣勝負の静けさと賑やかさが混ざった時間でした。

私は、サッと素早く札を取る姿にただただ感心するばかりの1日となりました。



人形の
からくり見事な
風流物

